

地域のことを研究している生徒たちが

稲沢市矢合の新田地区の虫祭を見学してきました

3年生は現在、「総合的な学習の時間」を利用して課題研究を行っています。そのうち14名は地域の伝統行事である「虫送り」についての調査をしています。

6月17日（日）、学校から5キロほど東の稲沢市矢合の新田地区で行われている「虫祭」という行事を6人の生徒とともに見学してきました。



▲宮総代の永井さんから話を聞く



▲御幣作り



▲完成した15本の御幣



▲御幣をさす様子



▲御幣をさすことに自分たちも参加



▲お供えのあがた・くつわをもらいました

9時ごろ稲沢市鈴置神社において、御幣（ごへい）づくりが始まりました。多くの方々が竹を切ってきて、それを1メートルほどの棒状にし、神官さんが事前に作った御札を挟み15本の御幣が完成しました。その後2班にわかれて集落の決められている場所に御幣をさしに行きました。「御幣をさすことでこの地域はもう虫を押し出した後で、虫が入れない地域であることを示したことになる」と宮総代の永井さんから教えてもらいました。

御幣を地面にさすときには、「せっかく来たんだから一本さしたら」と実際に大切な行事を特別にやらせてもらいました。

さらに2人の生徒は鈴置神社で夜の20時から行われるもう一つの行事「天王様迎え」も見学させていただきました。その行事後、公民館の中でお供えのお裾分けをいただきました。

外部から突然見学に訪れた私たちを地域の人は温かく迎えてくれました。地域の行事を知るとともに、地域の人との温かさや繋がりを感じることでできる充実した日になりました。